

報道関係者各位

平成 19 年 12 月 5 日

特定非営利活動法人「子ども健康フォーラム」
マニユライフ生命保険株式会社

「マニユライフ生命 子どもの療養環境改善募金」贈呈先決定
全国の小児医療現場の専門施設・団体による応募から
「子どもの療養環境向上のためのアイデア」10 件を選考
～「第 12 回 21 世紀愛知の子ども健康フォーラム」同日に発表・贈呈式を実施～

子どもの医療や健康の支援・療養環境改善のために全国的にみても先駆的な活動を進めている特定非営利活動法人(NPO)「子ども健康フォーラム」(愛知県西加茂郡、理事長 田邊 穰)では、「マニユライフ生命 子どもの療養環境改善募金」の一環として、全国の子どもが入院または通院する施設を対象に、子どもの療養環境改善に役立つユニークで有益な特別企画のアイデア募集を実施しました。その結果、全国 15 施設・団体から計 17 件のアイデア応募があり、慎重な審査選考の結果、うち 10 件のアイデアを支援対象として決定、11 月 25 日(日)に開催されたイベント「第 12 回 21 世紀愛知の子ども健康フォーラム」のプログラムの一つとして、寄贈先発表と併せて贈呈式を行いました。

「マニユライフ生命 子どもの療養環境改善募金」は、NPO「子ども健康フォーラム」の活動趣旨に共鳴したカナダ系生命保険会社のマニユライフ生命保険株式会社(本社:東京都調布市、社長兼 CEO ジェフ・クリックメイ)と全国の同社職員の社内募金協力により寄贈された寄付金をもとに、NPO「子ども健康フォーラム」が、子どもの療養環境改善を促進するため、全国の子どもが入院または通院する医療施設を対象に、子どもの療養環境改善に役立つより新しく有益な特別企画のアイデアを公募し、優秀なアイデアに対してこの寄付金による助成をするものです。

3 度目の実施となる今回は、合計 1,856,472 円が「子ども健康フォーラム」に寄贈され、それをもとに行ったアイデア公募には、前回は上回る件数、企画内容のご提案を得ることができました。「子ども健康フォーラム」による厳正な審査の結果選ばれた 10 施設・団体代表の顔ぶれ、各企画内容は別紙の通りです。11 月 25 日(日)に、あいち小児保健医療センターで開催されたイベント「第 12 回 21 世紀愛知の子ども健康フォーラム」内で贈呈式を行い、各施設・団体の代表に寄付金が寄贈されました。

尚、当日は、小児医療先進国並みの「プレイルーム」の普及・啓発を目指す特別大型プロジェクト『「マニユライフ わくわくるーむ」プロジェクト』の支援先も発表されました。



寄付金の贈呈が決定した10施設の皆さんと、NPO 子ども健康フォーラム田邊理事長(写真3列目左から3番目)、奥田理事(3列目左)、マニユライフ生命名古屋セールスオフィス田中セールスマネージャー(3列目右から3番目)

<2007年度 マニユライフ生命 子どもの療養環境改善募金 贈呈先>

①愛知県青い鳥医療福祉センターなのはな棟 『いたいの いたいの とんでいけー！』

②あいち小児保健医療総合センター 『わくわく読書で、ドキドキ気分を吹き飛ばせ！』

③大阪市立総合医療センター 『まいど〜！ワゴンde プレイルームがやってくる♪』

④大阪大学医学部附属病院小児科・小児外科 『人形劇・ごっこ遊びでリハーサル！

～“いやなこと、こわいこと”が、“ちょっと安心、きっとだいじょうぶ”に～』

⑤育ちあう人間関係研究所 『からだをゆるめて ほっとコミュニケーション』

⑥東京北社会保険病院小児病棟 『わくわく にこにこ ハイポーズ！

～行事の記念撮影と入院前のオリエンテーション資料の作成』

⑦豊橋市民病院小児科病棟

『赤ちゃん、寝たきりの子ども達をプレイルームへ連れ出そう！！』

⑧独立行政法人国立病院機構長良医療センター小児病棟

『わ〜い、先生大好き！先生がサンタさんだ〜』

⑨宮崎大学医学部附属病院 『ようこそ私たちの美術館へ 見て！見て！わたしの作品』

⑩NPO 法人メンタルケアなないろの森 『なないろの魚の水族館』

(ご参考資料)

NPO「子ども健康フォーラム」について

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要・不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児専門病院の「あいち小児保健医療総合センター」(愛知県大府市、センター長 長嶋 正實)をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けているところです。

「第12回 21世紀愛知の子ども健康フォーラム」について

特定非営利活動法人(NPO)「子ども健康フォーラム」(愛知県西加茂郡、理事長 田邊 穰)は、11月25日(日)に、将来を担う子どもの心と体が健全に育つことをテーマとするイベント「第12回 21世紀愛知の子ども健康フォーラム」を開催いたしました。愛知県内唯一の小児医療専門施設として先進的な医療を受け持つ、あいち小児保健医療総合センター(愛知県大府市、センター長 長嶋 正實)を知っていただくと同時に、小児虐待、現代の食生活に影響を受けた子どもの肥満、病気などを食育で改善し、また少子化の現状や子育て問題の解消を図ることを提案いたしました。詳細は(<http://www.achmc.pref.aichi.jp/S010/第11回フォーラム.pdf>)をご覧ください。

前回の贈呈先施設・団体と対象の活動アイデア

(「マニユライフ子どもの療養環境改善募金」寄付金贈呈先、2007年中に実施)

- ①愛知県心身障害者コロニー中央病院 『ぼくの わたしの ワクワクランド』
- ②あいち小児保健医療総合センター 『わくわく着替えて、だぁ〜い へんしん！！』
- ③順天堂大学医学部小児科 『小児外来における育児支援活動”わくわく広場”の充実化をめざして』
- ④中部労災病院4階西病棟 『ごっこ遊びで楽しく充実した遊びを！！』
- ⑤長良医療センター療育指導室 『壁面づくりに参加して診察待つ間にニコニコ笑顔辛い病気も飛んでいけ！』
- ⑥日本赤十字社医療センター小児病棟 『大人仕様の病棟から子ども仕様の病棟へ』
- ⑦ NPO 法人メンタルケアなないろの森 『遊んで、伝えよう！未来の「すごろく」』

マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社(「マニユライフ生命」)は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で、世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、最高位の格付けである「AAA」を取得しています(2007年11月末現在)。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界19ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよび日本、大部分のアジア地域では、マニユライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェンต์および販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2007年9月30日現在3,990億カナダドル(3,980億米ドル)となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「0945」で取引されています。

マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ(www.manulife.com)をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。(www.manulife.co.jp)